

キャラクター名
黒塚昇三郎

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	刑事	カヴァー	刑事
	パロール					
オプション			年齢	36	性別	男
覚醒	無知	衝動	加虐	初期侵食率	34	%
出自	親戚と疎遠	経験	盟友	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	2	1	1	2		6	(非装備時)	15
精神	3	0	0			3	戦闘移動	20
社会	1	0	2			3	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転:	4		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃+ロクサ	射撃	6r+5		3		
「大人を舐めるなよ？」	射撃	9r+5	8	3		コンセントレイトスタンボルトアームズリンク俊足の刃
範囲拡大	射撃	9r+5	クリ8	3		範囲(選択)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ロックオンサイト	
乗用車	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
瀬上千夏	P 好意	N 不安		
鈴三野美津子	P 懐旧	N 猜疑心		
谷修成	P 連帯感	N 猜疑心		
滅保志ダン	P 好意	N 疎外感		
折笠ちしお	P 信頼	N 不安		
滅せんせー	P 信頼	N 劣等感		
音無鋼夜	P 有為	N 悔悟		

最大財産P: 14 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
アームズリンク	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせたダイス+[SL]								
鋼の馬	1	2	メ/マ	-	-	-	-	
効果: 運転判定+[SL]								
コンセントレイトブラド	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[SL]								
スタンボルト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダメージを与えれば放心付与								
ハードワイヤード	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 専用アイテム取得								
因果歪曲	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: 組み合わせたエフェクトの対象変更								
俊速の刃	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせたダイス+[SL]+1								
セキュリティカット	1	1	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: セキュリティ/電子ロック解除								
タッピング&オンエア	1	1	メジャー	視界	-	自動	-	
効果: 電波傍受/放送								
偏差把握	1	-	メジャー	至近	シーン	自動	-	
効果: 周囲の物と動きを把握								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

警察署刑事課に所属する私服警察官。
 UGNを認めず、自らの手でレネゲイド関連事件を解決しようとする日本警察において、唯一のオーヴァード。
 自身も元はオーヴァードの存在を知らない、ただの一人の警察官だった。世界の変化など知らず、ただ歳を取り、人々を守ることを望んだ。
 しかしある日、彼は偶然、ジャームと戦うオーヴァードの少年少女の姿を見てしまった。
 それまで、自分が守ることができていると思っていた世界は、ただの表面でしかなく、実際にこの世界を守っていたのは年端もいかぬ子供たちであるということを知り、彼は苦悩した。そして、悩みながらも生きていく中、いつの間にか、自らも能力を得ていることに気が付いた。
 目の前で行われた子供たちとジャームの戦いを見たショックがトリガーとなったのか、それとも元々持っていた能力にその時初めて気が付いたのか、はたまた別の理由か。そんなことはどうでもいい。
 自分の手で、子供たちを守ることができる。未来を担う若者が、世界の敵と戦う、この現状を打ち破ることができる。そう思って歓喜した彼を待っていたのはしかし、希望などではなかった。
 彼が得たのは、前線に立ち、敵から子供たちを守ることができるものなどではなかった。彼が目覚めた力は、ただ、己の銃をささやかに強化する程度のもの。そして、それに付随した本当にちょっとした奇跡。ただ、それだけ。
 何も知らなかったあの日の自分ではなく、自分がただ、守られている存在だったことを知ったあの時の自分でもなく、世界を守るために戦う子供たちと同じ能力に目覚めた自分はしかし、どんな過去の自分よりも無力感に苛まれる。
 そんな彼にも、UGNは近づいてきた。
 オーヴァードを許さない警察の犬でありながら、オーヴァードに覚醒した異端者。
 子供たちを守るためならと、UGNに協力を申し出た忠犬でありながら、己の無力さに自らを罰する咎人。
 そんな彼のことを、UGNの者たちはただ、「咎狗」と呼んだ。

黒塚昇三郎。36歳。ハゲた頭に濃い鬚髯がトレードマーク。
 特技は拳銃射撃と車の運転。趣味は盆栽と家庭農園。